

平成27年度

堺学シリーズ講演会

入場無料

定員 600名

申込不要

堺の歴史、文化、地場産業など、どなたにでも興味深く学べる講演会です！ぜひご聴講ください！
※この講演会は連続講演会ではありません。1回、1回 個別に参加していただけます。

各日 14:45～16:05 (80分間)

講演概要は裏面へ 



10月15日(木)

アール・ヌーヴォーの美神を描く
— アルフォンス・ミュシャの世界 —

講師

金岡 直子氏
(堺市文化観光局文化部文化課 学芸員)



10月22日(木)

日本最古の官道 竹内街道沿いの建築遺産
— その様式的精華 —

講師

東野 良平氏
(近世建築研究調査会 主宰、
大阪府文化財保護審議会委員)



11月5日(木)

ものの始まりなんでも堺
— 受け継がれる進取の気風 —

講師

川上 浩氏
(NPO法人堺観光ボランティア協会
理事長)



11月12日(木)

近世都市の誕生
— 堺復興400年にあたって —

講師

矢内 一磨氏
(堺市博物館学芸課 主査)



11月19日(木)

「さかい利晶の杜」について
— 千利休・与謝野晶子と堺のまち —

講師

渋谷 一成氏
伊住 禮次朗氏
安達 智美氏
(堺市博物館学芸課 学芸員)



11月26日(木)

住吉さんと堺出島浜「鯨まつり」
— よみがえった幻の奇祭 —

講師

鎌苅 一身氏
(堺出島浜鯨祭りの会世話人(一心堂書店代表))
小出 英詞氏
(住吉大社 権禰直)

場 所：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス Uホール

(〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1)

- ・地下鉄御堂筋線「なかもず」駅下車、5番出口すぐ左折、徒歩20分
- ・JR阪和線「三国ヶ丘」駅下車、バス15分「府立大学前」下車
- ・南海高野線「白鷺」駅下車、徒歩15分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

定 員：600名(入場無料・申込不要)

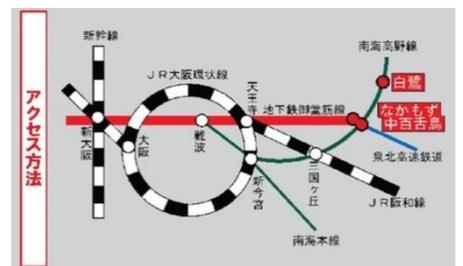
問合先：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス

上方文化研究センター内「堺学シリーズ講演会」係

TEL：072-252-1161(代) 内線4387

E-mail：sakaigaku@ao.osakafu-u.ac.jp

(事務員が不定期の出勤の為、お問合せはメールでお願いします。)



主催：(公財)堺都市政策研究所・大阪府立大学上方文化研究センター

講演概要

アール・ヌーヴォーの美神を描くーアルフォンス・ミュシャの世界ー(10月15日(木)開催)

堺市には、アール・ヌーヴォーを代表する芸術家アルフォンス・ミュシャ(1860-1939)の、世界有数のコレクションがあります。ミュシャの生涯について、主な作品を紹介しながらお話しします。華やかな、しかし、ただ美しいだけではないミュシャの作品の魅力や見どころについて解説しますので、ミュシャのことを全く知らない方でも、その世界に親しんでいただけます。あわせて、堺出身の歌人・与謝野晶子(1878-1942)とミュシャとの関わりについてもお話しします。

日本最古の官道 竹内街道沿いの建築遺産ーその様式的精華ー(10月22日(木)開催)

竹内街道の周辺には、古代から近世に及ぶ、様々な歴史的建造物があります。それらの古建築はいかなる特色をもち、どのように変化発展してきたのでしょうか。また、街道周辺の人びとは、それらの建築にどのような願いを込めたのでしょうか。街道は、人びとや物が行き交うだけではありません。風習や文化なども同時にもたらしました。竹内街道周辺の建築を考えることで、建築文化の伝播、地域の特色についても考えてみたいと思います。

ものの始まりなんでも堺ー受け継がれる進取の気風ー(11月5日(木)開催)

古代の遺産、仁徳天皇陵古墳のあるまち、千利休、与謝野晶子を生んだまち、中世、天下人や武将たちが仲良くしたかったまち「堺」。昔、まちの真ん中に摂津・和泉の国境があったことから、この地が「さかい」と呼ばれるようになったと言われています。まちの真ん中に国境があるのに、ひとつの町として発展しました。また、堺には城がありません。土農工商の土、つまり行政の意向が伝わりにくいまちなのです。これを自由都市と言う方がおられますが、自由とは実は不自由でもあります。困った時に誰も助けてくれません。だからこそ乱世の中、民衆の力で自由の発展形として自治都市を築いたのです。この自由でしなやかな気風が時代の先を読む先見性を育み、新たな文化を生み出してきました。昔から現在まで、そして未来へ「もの始まりなんでも堺」と言われる所以についてお話しします。

近世都市の誕生ー堺復興 400 年にあたってー(11月12日(木)開催)

今年、2015年は堺が近世都市の建設に向かって歩み出して400年目にあたります。1615年4月28日。大坂夏の陣の前哨戦で大坂方が放った火で、栄華を極めた堺は全焼します。その後、徳川幕府は堺の復興の起工式を6月18日に行い、新しい町の建設がはじまりました。自由自治都市として知られる中世の堺に比べると、近世の堺は、従来注目される機会に恵まれませんでした。しかし、近世の堺は強い経済力を背景に、豊かな文化が成長する和泉国の中心都市でした。この講演では、堺市博物館に今年10月27日～12月13日の間、里帰り展示中の元禄の堺大絵図(国立歴史民俗博物館所蔵)についても紹介をしつつ、近世都市堺の魅力を考えます。

「さかい利晶の杜」についてー千利休・与謝野晶子と堺のまちー(11月19日(木)開催)

今春、堺区宿院町西2丁に「さかい利晶の杜」(堺市立歴史文化にぎわいプラザ)が開館しました。本施設には、千利休と与謝野晶子の事績を紹介する二つの展示室のほか、堺の観光情報を提供する観光案内展示室があります。また館内には、椅子に座って抹茶を楽しめる立礼茶席など、茶の湯を身近に感じられる施設も整っています。本講演では、当施設の魅力と見どころをわかりやすくご紹介します。

住吉さんと堺出島浜「鯨まつり」ーよみがえった幻の奇祭ー(11月26日(木)開催)

堺出島浜の漁師達は、古く鎌倉時代からと伝えられる鯨との物語の中で、記録上、明治8年・42年、昭和6年・29年と鯨祭り(鯨取行列)を挙行し、住吉大社に奉納しました。それは全国的にも最大級であり、堺衆の力を現したものでありました。長らく中断していましたが、住吉大社御鎮座千八百年を奉祝し、平成23年、57年ぶりに13mの大鯨で境内を練り歩き、太鼓橋を渡り、本殿前で鯨音頭・踊りを奉納し復活することができました。本講演では、幻の奇祭鯨祭りの再現の経緯と歴史を紹介します。

